Panasonic

パーソナルコンピューター
取扱説明書

品番 **CF-M34シリーズ**

TOUGHBOOK

2000 XP

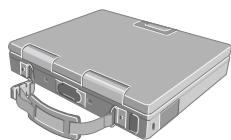
本書以外のマニュアル

操作マニュアル

画面で見るマニュアルです。本機をより活用するための拡張方法などについて説明しています。見かたについては19ページを参照してください。

もくじ

使用上のお願い/キーの組み合わせによる操作/状態表示ランプ/フラットパッドの操作/タッチパネル/Panasonic手書き/画面回転ツール/スタンバイ・休止状態機能/セキュリティ機能/省電力機能/バッテリーパック/PCカード/RAMモジュール/外部ディスプレイ/USB機器/モデム/LAN機能/ポートリプリケーター/セットアップユーティリティ/技術情報/DMIビューアー/エラーコードが表示されたら/困ったときのQ&A

本書ではハンドストラップを取り外した状態でのイラストを用いて説明しています。

上手に使って上手に節電

もくじ

お使いになる前に　操作の方法　困った時は

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

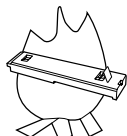
表示	内容
⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

絵表示	内容
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

バッテリーパックに関する注意　⚠危険

火中に投入したり加熱したりしない

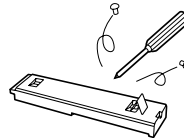
禁止

発熱・発火・破裂・爆発の原因になります。

ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしない

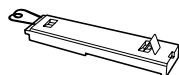
禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

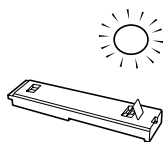
クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス(＋)とマイナス(－)を金属などで接触させない

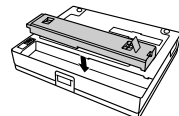
禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

指定された方法で充電する

取扱説明書に記載された方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

付属の充電式電池は、必ず本機で使用する

CF-M34 シリーズ専用の充電式電池です。本機以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

電源プラグを抜く

•本体が破損した •本体内に異物が入った
•煙が出ている •異臭がする
•異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災•感電の原因になります。

● 異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

本機を改造しない また、本書に記載のない方法で分解しない

分解禁止

⚠警告
高電圧に注意 本機を分解・改造しない

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。また、改造や間違った方法での分解は火災の原因にもなります。

本機の上に水などの入った容器や金属物を置かない

禁止

水などがこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

● 内部に異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切って電源プラグとバッテリーパックを抜き、販売店にご相談ください。

拡張ボードなどを着脱するときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

炎天下の車中に長時間放置しない

禁止

高温により、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良等により火災・感電につながることがあります。

モデムは日本国内の一般電話回線で使用する

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

電源コードはプラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※の原因になります。

※低温やけどについて
体温より少し高い温度のものでも、皮膚の同じ個所に、長時間、直接触れていると、低温やけどを起こすおそれがあります。

使用上のお願い

本取扱説明書の表記上の規則

Windows 2000	:Microsoft® Windows® 2000 Professionalについての説明です。
Windows XP	:Microsoft® Windows® XP Professionalについての説明です。
Enter	:キーボードのEnterキーを押します。
Fn + F5	:キーボードのFnキーを押しながら、F5キーを押します。
[スタート]-[検索]	:画面上の[スタート]をクリックした後、[検索]をクリックします。（内容によっては、ダブルクリックが必要な場合もあります。）
☞『操作マニュアル』	:操作マニュアルは画面で見るマニュアルです。19ページに記載の方法で起動し、参照してください。

本書で使用している共通の画面は、Windows 2000の画面です。

- Administratorまたはコンピューターの管理者以外の権限でログオンした場合、実行できない機能があったり、画面の表示が本書と違ったりすることがあります。
  このような場合は、Administratorまたはコンピューターの管理者の権限でログオンして、操作してください。
- 周辺機器等の誤った使用をすると本機の性能劣化、温度上昇、故障の原因になることがあります。各種拡張については操作マニュアルを参照してください。
- 別売りの商品については、最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

- お客様の使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命に関わる機器・装置・システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器・装置・システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失する恐れがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、下記および次ページのことに注意してください。

コンピューターウィルス

最新のウィルスチェックプログラム(市販)を入手し、チェックを行う。
特に以下の場合、ウィルスチェックを行うことをおすすめします。
- ・コンピューターを起動するとき
- ・データを入手したとき
  フロッピーディスクなどの外部メディアから、またネットワーク、パソコン通信、電子メールなどから入手したデータ（圧縮されている場合は、圧縮復元後のファイル）を使用または実行する前にウィルスチェックを行ってください。

周辺機器を使用する場合

コンピューター本体、周辺機器、ケーブル等の故障を防ぐため、次の点に注意してください。また、本書とあわせて、使用する周辺機器の取扱説明書をよくご覧ください。
- ・コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
- ・接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向き等を確認する。
- ・固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
- ・ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

使用上のお願い

ハードディスクのデータ保護

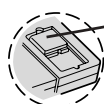
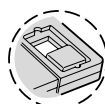
- **コンピューターに衝撃を与えない。**
  ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。コンピューター本体の取り扱いには十分注意してください。
- **Windows*1やアプリケーションソフトの動作中およびハードディスクドライブ（ ）のランプが点灯中は、電源を切らない。**
  ハードディスクのトラブルを避けるため、[スタート]メニューから操作を終了してください。（☞ 16ページ）
- **磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。**
  ハードディスクに保存されていたデータが消失するおそれがあります。
- **ハードディスクに保存している必要なデータは、万一の場合(故障・不本意なデータ更新・消失など)に備えて定期的にバックアップをとる。**
  トラブル発生時の被害を最小限に抑えるための有効な方法としておすすめします。
- **データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。**（☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）

*1 正式名称 Windows 2000：Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemです。本書ではWindowsまたはWindows 2000と表記します。
Windows XP：Microsoft® Windows® XP Professional operating systemです。本書ではWindowsまたはWindows XPと表記します。

ハードディスク保護

ハードディスク保護を有効に設定すると、ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際にハードディスクのデータが読み書きできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と全く同じ設定にしておいてください。（ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。☞『操作マニュアル』「セキュリティ機能」）

フロッピーディスクのデータ保護

- **フロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯中に電源を切ったり、フロッピーディスクドライブを取り外したり、フロッピーディスクドライブの取り出しボタンに触れたりしない。**
  フロッピーディスクの破損の原因になり、データやアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。
- **一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合はその前に内容を確認する。**
  フォーマットを行うとそのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えてしまいます。あらかじめ必要なデータがないか確認することをおすすめします。
- **書き込み禁止タブ(ライトプロテクトタブ)を使う。**
  重要なデータを保存している場合におすすめします。書き込み禁止の状態にするとデータの削除や上書き保存を禁止することができます。

書き込み可能な状態　　書き込み禁止の状態

- **フロッピーディスクの取り扱いには注意する。**
  データの破損やフロッピーディスクが本体から取り出せなくなるようなトラブルを避けるために次の点に注意してください。
  - ・シャッターを手で開けない
  - ・磁気を帯びたものを近づけない
  - ・高温・低温になりやすいところ、湿気やほこりの多いところに保管しない
  - ・ラベルを重ねて貼らない

お使いになる前に

コンピューターの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去について

最近、コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。

ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

・データを「ごみ箱」に捨てる
・「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
・「削除」操作を行う
・ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
・再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがいまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このコンピューターのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

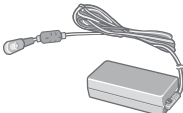
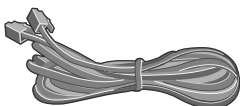
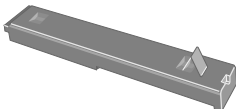
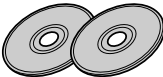
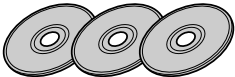
お客様がコンピューターを廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク内の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録されたすべてのデータを、お客様の責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスク内のデータを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

データ消去のための専用ソフトウェア・サービスについて：
本機には、ハードディスク内のデータを消去するハードディスクデータ消去ユーティリティが搭載されています。ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。ハードディスクデータ消去ユーティリティについて詳しくは、30ページをご覧ください。

その他、データの消去に関しては、下記の情報窓口をご利用ください。
＊パナソニックPCのホームページ（http://panasonic.biz/pc/prod/common/eco.html）
＊パナソニックパソコンお客様ご相談センター（フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック））
＊リース、レンタル会社への返却については、リース、レンタル会社の問い合わせ窓口

また、ハードディスク内にお客様がインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

はじめて使うとき

お買い上げになってからはじめて Windows **の操作を始めるまでの操作手順を説明します。**

1 付属品を確認する

本体以外に以下の部品を付属しています。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。

お願い

トラブルが発生したときに使う再インストール用バックアップディスクを作成するには、USB**接続のフロッピーディスクドライブ（**CF-VFDU03**）が必要です。**12**ページ手順*8*のバックアップディスク作成の際には、**2HD**フロッピーディスクを準備し、書き込み可能な状態にしておいてください。バックアップディスク作成に、**1.2M**バイトフォーマットの**2HD**フロッピーディスクは使えません。**

お使いになる前に

AC アダプター .... 1 個	モジュラーケーブル ... 1 本	バッテリーパック ... 1 個
品番：CF-AA1625　（電源コード 1 本付き）		品番：CF-VZSU15A
プロダクトリカバリー CD-ROM	**スタイラスペン ... 1 本**	**専用布 .... 1 枚**
Windows 2000　Windows XP	（タッチパネル操作用）	
印刷物		
・取扱説明書（本書） ・Windows マニュアル ・保証書 ・ご愛用者登録カード兼保証期間延長依頼書		

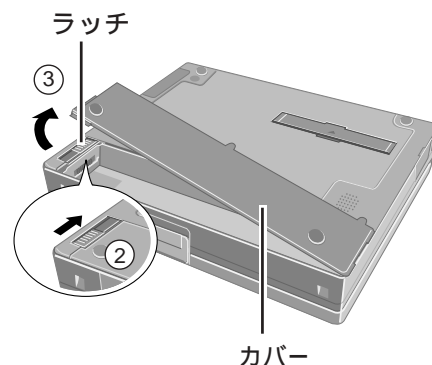
2 ソフトウェア使用許諾書(☞ 29ページ)に同意する

コンピューター本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を必ず確認してください。

3 バッテリーパックを取り付ける

① **本体を裏返す。**

② **ラッチをスライドしてロックを外す。**

③ **カバーを開ける。**

④ 黄色のタブを持って付属のバッテリーパックを入れる。

お願い

本体側のコネクターに触れないでください。コンピューターが正常に動作しなくなることがあります。

⑤ バッテリーパックがカチッとはまるまで矢印方向にスライドする。

お願い

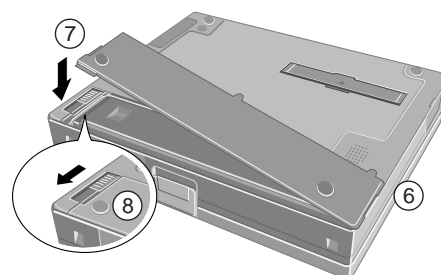
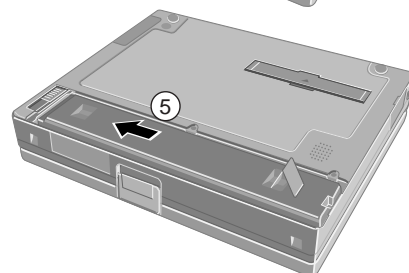
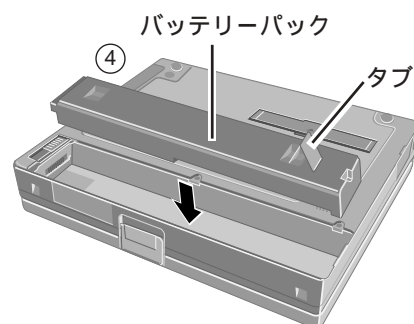
バッテリーパックがコネクターに正しく接続されていることを確認してください。

⑥ 右端のフックをみぞに挿し込む。

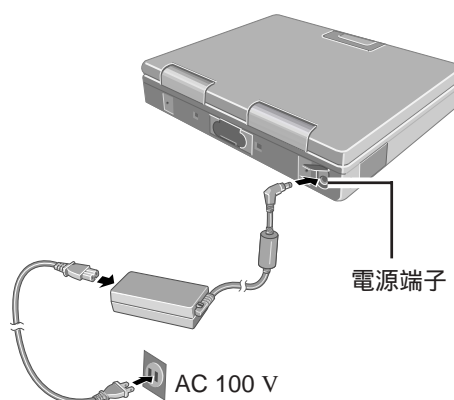
⑦ カバーを閉じる。

⑧ ラッチをスライドしてロックする。

お願い

ラッチが正しくロックされていることを確認してください。
ラッチがロックされていない状態でコンピューターを持ち運ぶと、カバーが開いてバッテリーパックが落ちることがあります。

お使いになる前に

4 AC アダプターを接続する

- ACアダプターは、手順7（☞ 10、11ページ）が完了するまで、必ず接続しておいてください。
  ACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。
  充電にかかる時間：約4時間
  （コンピューターの動作状態により異なります。）
- はじめて使うときは、本体にバッテリーパックとAC アダプター以外の周辺機器は接続しないでください。

⚠注意

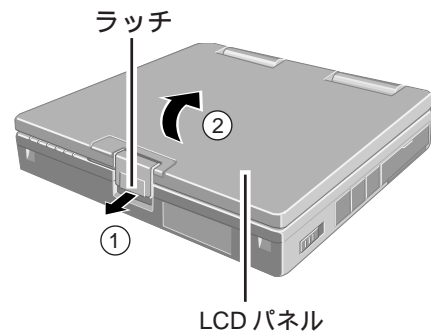
必ず指定の AC アダプターを使用する

指定以外のAC アダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

はじめて使うとき

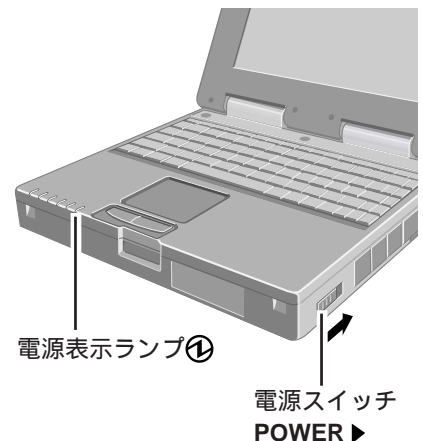
5 ディスプレイを開ける

① ラッチを矢印の方向に持ち上げる。

② LCD パネルを開ける。

6 電源を入れる

電源スイッチを約1秒間スライドしたままにし、電源表示ランプ（⏻）が点灯したことを確認してから手を離します。

お願い

- 電源スイッチを4秒以上スライドしたままにしないでください。4秒以上スライドし続けると電源が切れます。
- 電源スイッチを連続してスライドしないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。

7 Windowsをセットアップする

カーソル(⇖)の移動やボタンなどの選択（クリック）には、フラットパッドを使います。（☞ 18ページ）

Windows 2000

お願い

「Windows 2000セットアップ ウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、フラットパッドに触れたりしないでください。

①「Windows 2000セットアップウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
②「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③「地域」画面で正しい地域を設定して、[次へ]を選ぶ。（工場出荷時は日本に設定されています。）
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]を選ぶ。（組織名は省略可能）
⑤「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面でコンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]を選ぶ。

お願い

- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。
- ここでは、パスワードを省略し、後で設定することもできます。後で設定する場合は、Windows起動後、[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で行ってください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻を設定して[次へ]を選ぶ。
Windowsのセットアップ終了後、変更することもできます。その場合は、[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[日付と時刻]で行ってください。
⑦「ネットワークの設定」画面で[標準設定]を選び、[次へ]を選ぶ。
設定内容は一例です。お使いのネットワークシステムにより設定が異なります。詳しくは、接続サービス会社(プロバイダー)または会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

⑧「ワークグループまたはドメイン名」画面で[このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している]を選び、[次へ]を選ぶ。
コンピューターが再起動します。
⑨「ネットワーク識別ウィザードの開始」画面で、[次へ]を選ぶ。
⑩「このコンピュータのユーザー」画面で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選び、[次へ]を選ぶ。
⑪「ネットワーク識別ウィザードの終了」画面で[完了]を選ぶ。
⑫手順⑤でパスワードを設定した場合、そのパスワードを入力して[OK]を選ぶ。

Windows XP

お願い

「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面が表示されるまでしばらく時間がかかりますので、キーを押したり、フラットパッドに触れたりしないでください。

①「Windows XPセットアップウィザードの開始」画面で[次へ]を選ぶ。
②「ライセンス契約」画面で使用許諾契約をよく読んで、「同意します」を選び、[次へ]を選ぶ。

お知らせ

「同意しません」を選んだ場合、Windowsのセットアップが中止されます。

③「地域と言語のオプション」画面で正しい地域を設定して、[次へ]を選ぶ。（工場出荷時は日本に設定されています。）
④「ソフトウェアの個人用設定」画面で名前と組織名を入力して、[次へ]を選ぶ。（組織名は省略可能）
⑤「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」画面で、コンピューター名とパスワードを入力して、[次へ]を選ぶ。

お願い

- 設定したパスワードは必ず覚えておいてください。パスワードを忘れるとWindowsを使用することができません。（☞ 13 ページ）
- ここでは、パスワードを省略し、後で設定することもできます。後で設定する場合は、Windows起動後、[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で行ってください。

⑥「日付と時刻の設定」画面で正しい日付と時刻を設定して[次へ]を選ぶ。
Windowsのセットアップ終了後、変更することもできます。その場合は、[スタート]-[コントロールパネル]-[日付、時刻、地域と言語のオプション]-[日付と時刻]で行ってください。
⑦「ネットワークの設定」画面で[標準設定]を選び、[次へ]を選ぶ。
設定内容は一例です。お使いのネットワークシステムにより設定が異なります。詳しくは、接続サービス会社(プロバイダー)または会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。
⑧「ワークグループまたはドメイン名」画面で「このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している。」を選び、[次へ]を選ぶ。
コンピューターが自動的に再起動します。
⑨手順⑤でパスワードを設定した場合、そのパスワードを入力して➡を選ぶ。

お知らせ

Windows XP

ユーザーアカウントを作成する場合は、メールの設定など各種操作を行う前にアカウントを作成することをおすすめします。アカウントを作成すると、それまでのメールの履歴や設定内容が使用できなくなります。

8 バックアップ用のフロッピーディスクを作成する

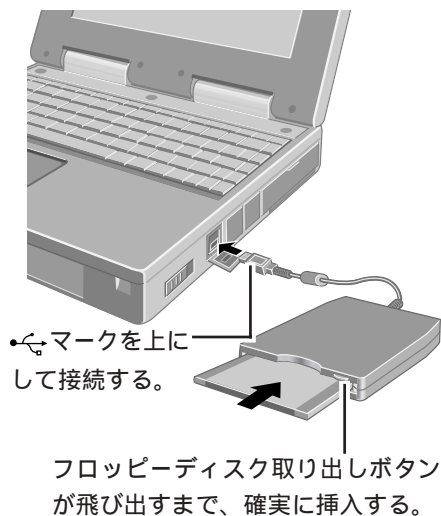
①別売りのフロッピーディスクドライブを取り付け、書き込み可能な状態にした2HDフロッピーディスク（枚数は画面に従ってください）を準備する。

② Windows 2000

[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[バックアップディスク作成]を選び、画面に従って操作する。

Windows XP

[スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[バックアップディスク作成]を選び、画面に従って操作する。

③作成したディスクにはラベルを貼り、名称（「ファーストエイドFD」など）を書く。

アップデートFD作成画面が表示されたら､画面に従ってディスクを作成してください。アップデート FD は、作成する必要がない場合もあります。

お願い

- 作成したバックアップディスクは、コンピューターに何らかのトラブルが発生し正常に動作しなくなった場合などに、再インストールする（ハードディスクの内容をお買い上げ時に近い状態に戻す）ときに使います。大切に保管してください。
  ここで説明しているバックアップは本機を工場出荷状態に戻すためのものです。個人で作成したファイルについては、お客様ご自身で必要に応じてバックアップを取ってください。
- バックアップディスクは、再インストールが必要になってからでは作成できないことがあります。
- バックアップディスクの作成中は、他のプログラムを動作させないでください。
- バックアップディスクの作成中に、「コピーするファイルが足りません。」というメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。
- フロッピーディスクドライブのランプが点灯中にフロッピーディスクを取り出したり、フロッピーディスクドライブを取り外したり、電源を切ったり、スタンバイ・休止状態機能を使って終了したりしないでください（☞ 『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）。

お知らせ

＜PCカード接続CDドライブをお使いの場合＞
ファーストエイドFDで起動すると、再インストールに使用できるCDドライブが表示されますので、使用するCDドライブを選んでください。お持ちのCDドライブが一覧にない場合は「E.その他のCD-ROMドライブ」を選んでください。その後、使用するCDドライブやインターフェースカードに付属のフロッピーディスクから、「ファーストエイドFD」へ必要なドライバーをコピーし、「ファーストエイドFD」中のCONFIG.SYSファイルとAUTOEXEC.BATファイルの内容を書き替えてください。
ドライブによってはカードマネージャー（カードサービスとソケットサービス）が必要なものもあります。詳しくは、ドライブやインターフェースカードに付属の説明書をご覧ください。

Windows XP について Windows XP

Windowsの設定、インストールしているアプリケーションソフトやドライバーによって、Windowsのメニューや表示が本書と異なったり、一部の機能（パスワードリセット機能など）が動作しない場合があります。

ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する

[スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]-[ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する]で「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている場合と付けていない場合では、起動時および終了時の操作が以下のように異なります。

「ようこそ画面を使用する」の設定	起動時の操作	終了時の操作
チェックマークを付けている場合	ユーザーの名前のリストが表示され、ログオンしたいユーザー名を選ぶ。	[スタート]-[終了オプション]-[電源を切る]を選ぶ。
チェックマークを付けていない場合	ユーザー名とパスワードを入力して[OK]を選ぶ。	[スタート]-[シャットダウン]-[シャットダウン]を選び、[OK]を選ぶ。

● 「ユーザーの簡易切り替えを使用する」
この設定にチェックマークを付けていると、複数のユーザーがコンピューターを使用している場合、ログオンし直さずに別のユーザーに切り替えることができます。「ようこそ画面を表示する」にチェックマークを付けていない場合やネットワークのドメインに参加している場合などは、この機能は使えません。また、アプリケーションソフトによっては、この機能を使うとコンピューターが正しく動作しない場合があります。
本書では、チェックマークを付けている場合の手順で説明します。

パスワードリセット機能について

Windowsのログオンパスワードを忘れてしまったときのために、現在のパスワードを解除して新しくパスワードを設定するパスワードリセット機能があります。この機能を使うには、以下の手順に従って、あらかじめパスワードリセットディスクを作成しておいてください。

1. 別売りのUSBフロッピーディスクドライブを本機に接続する。
2. [スタート]-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]を選び、「変更するアカウントを選びます」の中からログオンしているアカウントを選ぶ。
3. [関連した作業]の「パスワードを忘れないようにする」を選ぶ。
以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成し、大切に保管してください。
   - パスワードリセットディスクで解除できるのは、各アカウントのログオンパスワードのみです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。

新しくユーザーアカウントを作成する場合

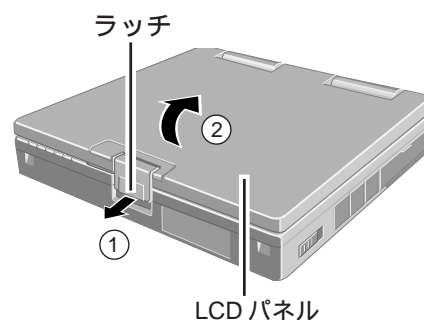
最初に追加するユーザーアカウントは「コンピューターの管理者」のアカウントでなければなりません。
制限ユーザー（制限付きアカウントのユーザー）のユーザーアカウントを作成する場合は、まず最初に「コンピューターの管理者」のアカウントを作成してください。以降、制限ユーザーのユーザーアカウントが作成できるようになります。
また、「ようこそ」画面には追加したユーザーアカウントのみが表示され、「Administrator」のアカウントは表示されません。

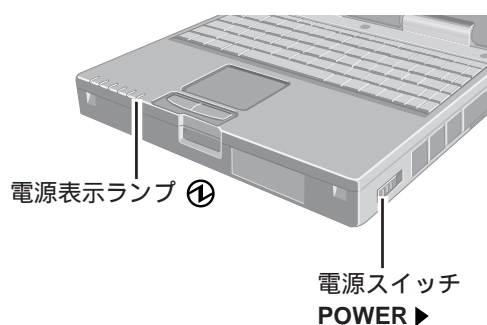
操作を始める／終わる

操作を始める

1 ディスプレイを開ける

① ラッチを矢印の方向に持ち上げる。

② LCD パネルを開ける。

2 電源を入れる

電源スイッチを約1秒間スライドしたままにし、電源表示ランプ（⏻）が点灯したことを確認してから手を離します。

お願い

- ポインターが砂時計（ ）から通常のもの（ ）に戻り、HDDアクセスランプが消えるまで、以下のことはしないでください。
  - ・ACアダプターを抜き挿しする。
  - ・電源スイッチを操作する。
  - ・キーボード、フラットパッド（外部マウス）、タッチパネルに触れる。
  - ・ディスプレイを閉じる。
- 電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。
- 本機をバッテリーパックのみでお使いのときは、電源スイッチをスライドしてから電源が入るまで時間がかかる場合があります。電源スイッチは1秒以上スライドし続けてください。これは電源オフの間、待機電力を抑えているために起こる現象で、故障ではありません。
- 電源を入れても本体が起動しない場合は、CPUの温度が上がっている場合があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの加熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

お知らせ

電源を入れたとき、「Warming up the system」が表示されたり、バッテリー状態表示ランプが緑色とオレンジ色に交互に点滅し、通常よりも起動に時間がかかったりすることがあります（数分以上）。これは低温時にハードディスクが誤動作するのを防ぐための機能です。コンピューターが起動するまでお待ちください。

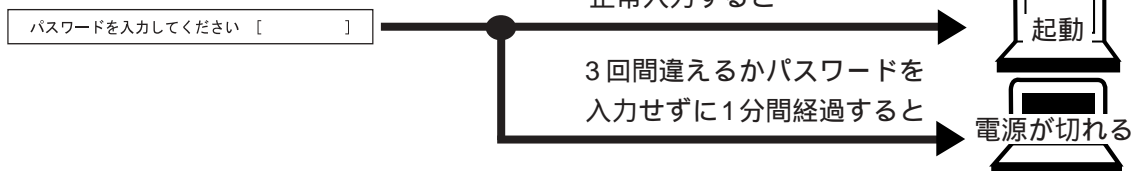
● 画面に［パスワードを入力してください ［　　　］］が表示されたら ...

本機のセキュリティのため、パスワード（☞ 操作マニュアル『セキュリティ機能』）が設定されています。

パスワード＊を入力し Enter

パスワードを入力してください ［　　　］

正常入力すると → 起動

3回間違えるかパスワードを入力せずに1分間経過すると → 電源が切れる

＊セットアップユーティリティで設定されているパスワードです。（Windows のパスワードではありません。）

● 操作していたアプリケーションソフトやファイルがすぐに表示されたら...
前回操作を終えたとき表示していた画面です。「スタンバイ」または「休止状態」と呼ばれる機能を使って操作を終わると、電源を入れたとき、すぐに操作を再開することができます。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ･休止状態機能」）

3 Windows にログオンする

Windows 2000
ハードディスク状態表示ランプ（🛢）が消えてから、ユーザー名とパスワードを入力して [OK] を選びます。正しいユーザー名とパスワードを入力するまで操作できません。

Windows XP
ハードディスク状態表示ランプ（🛢）が消えてから、ユーザーを選びます。

・パスワードを設定している場合は、パスワードを入力して ➡ を選んでください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。

ここでの操作は、「ようこそ画面を使用する」の設定により異なります。（☞ 13 ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」）

お知らせ

以下の2つの条件がそろっている場合は自動ログオンとなり、ユーザーを選ぶ画面は表示されません。
● ユーザーが一人だけ作成されており、パスワードが設定されていない。
●「ようこそ画面を使用する」にチェックマークを付けている。

4 操作をする

各種アプリケーションソフトなどを起動し、操作を始めてください。

お知らせ

● お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、ディスプレイの電源が切れ、画面の表示が消えます。
この場合、フラットパッドやタッチパネル、キーボードの操作を行うとディスプレイが元の状態に戻ります。
アプリケーションソフトのインストール中であってもディスプレイの電源が切れることがあります。この場合、動作に影響のないキー（ Ctrl や Shift など）を押してください。
コンピューターを操作せずに放置していると、スタンバイ状態または休止状態に入るように設定されています。電源スイッチをスライドするとリジュームします。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ・休止状態機能」）
● 工場出荷時の設定で、[デバイスマネージャ]*に「!」や「?」が表示される場合がありますが、異常ではありません。
* Windows 2000 ：[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [システム] - [ハードウェア]
  Windows XP ：[スタート] - [コントロールパネル] - [パフォーマンスとメンテナンス] - [システム] - [ハードウェア]

Windows XP
● ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、画面の設定ができなくなる場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、コンピューターの管理者でログオンして操作し直してください。

操作を始める／終わる

操作を終わる（電源を切る）

スタンバイまたは休止状態機能（☞『操作マニュアル』「スタンバイ·休止状態機能」）を使わず操作を終わります。

お知らせ

コンピューター本体にACアダプターを接続していないときはコンセント側を抜いておいてください。（ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約1Wの電力が消費されます。）

1 必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する

2 終了画面を表示する

Windows 2000 [スタート]-[シャットダウン]を選ぶ。

Windows XP [スタート]-[終了オプション]を選ぶ。（☞ 13ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」）

3 終了を確認し、電源を切る

Windows 2000 [シャットダウン]を選び、[OK]を選ぶ。

Windows XP [電源を切る]を選ぶ。

自動的に電源が切れます。

●電源を切らずに、起動し直したい（再起動）

Windows 2000 [再起動]を選んで、[OK]を選ぶ。

Windows XP [再起動]を選ぶ。

お願い

終了処理が行われている間は、以下のことをしないでください。

- ACアダプターを抜き挿しする。
- 電源スイッチを操作する。
- キーボード、フラットパッド（外部マウス）、タッチパネルに触れる。
- ディスプレイを閉じる。

お知らせ

キーボードを使って電源を切るには

Windows 2000 (⊞)、(U) の順に押し、(→)(←)(↑)(↓)で[シャットダウン]を選んで (Enter) を押す。

Windows XP (⊞)、(U) の順に押し、(→)(←)(↑)(↓)で[電源を切る]を選んで (Enter) を押す。

（☞ 13ページ「ユーザーのログオン・ログオフの方法を変更する」）

次に電源を入れるとき、すぐに操作を再開したい

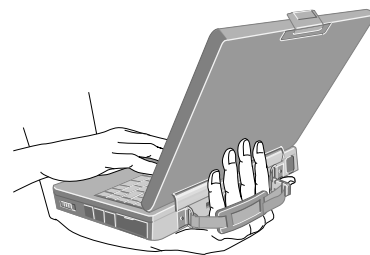
「スタンバイ」と「休止状態」と呼ばれる機能があります。（☞『操作マニュアル』「スタンバイ·休止状態機能」）

4 ディスプレイを閉じる

ハンドストラップの使い方

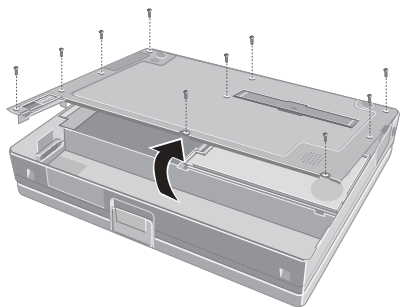
ハンドストラップは立ってコンピューターを操作するときに便利です。
誤ってコンピューターを落とさないようにベルトの長さを調節し、コンピューターをしっかりと持って操作してください。

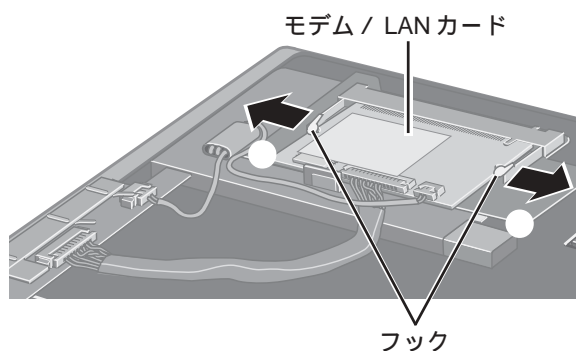
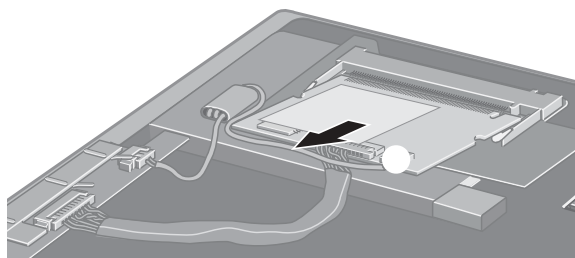
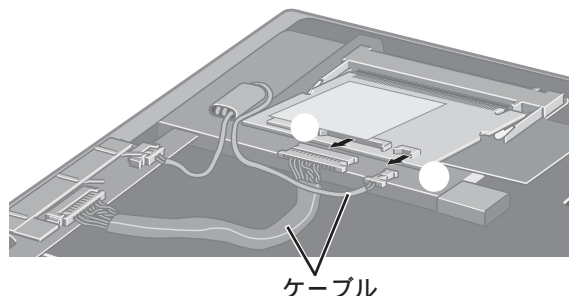
お願い

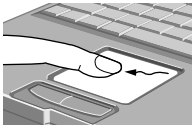
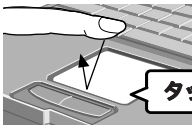
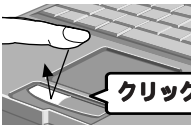
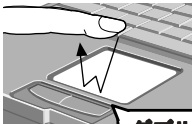
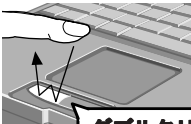
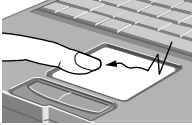
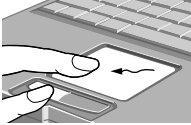
ハンドストラップに大きな力を加えないでください。ハンドストラップがコンピューターから外れるおそれがあります。

モデム／LAN カードの取り外し方

1 スタンバイおよび休止状態機能を使わず操作を終わる。

2 AC アダプターとバッテリーパックを取り外す。

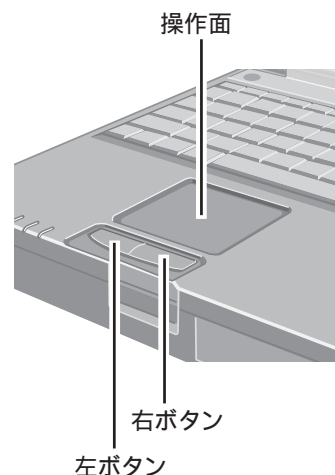
3 ドライバーを使って10個のビスを取り外し、底面のカバーを取り外す。

4 モデム／LAN カードを取り外す。

① 左右のフックを外側に広げます。

② ゆっくりとスロットから取り出します。

③ ケーブルを 2 本取り外します。

5 カバーを取り付ける。

内蔵モデムをご使用になる場合のお願い
本製品が装備する内蔵モデムは、電気通信事業法による端末機器技術基準認証を取得している下記の機器です。
認証機器名： T60M250.02
認証申請者名： Ambit Microsystems Corporation
認証番号： A01-0339JP

フラットパッドを使う（基本操作）

マウスと同じようにカーソルを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
詳細については、『操作マニュアル』「フラットパッドの操作」を参照してください。

お願い
フラットパッドは、指で操作するために設計されています。指以外で操作しないでください。

機能	フラットパッドの操作
カーソルを動かす	指先をフラットパッドの表面で動かします。
タップ／クリック	タップ または クリック
ダブルタップ／ダブルクリック	ダブルタップ または ダブルクリック
ドラッグ	1回タップしてからすばやく指先で操作面をこする。 または ボタンを押しながら、指を移動させる。

フラットパッドの取り扱い

- 操作面にものを置いたり、つめなどの先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので押さえたりしないでください。
- 油などでフラットパッドを汚さないでください。カーソルが正常に動かなくなります。
- フラットパッドに汚れが付着した場合：
  ガーゼなどの乾いた柔らかい布か水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。ベンジンやシンナー、消毒用アルコールは使わないでください。
  中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

操作マニュアル

操作マニュアルは画面で見ることができます。プリンターが接続されていれば、印刷することもできます。
周辺機器の拡張方法やセットアップユーティリティなど、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。

操作マニュアルを起動する

1 電源を入れる

2 Windows 2000

[スタート]-[プログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[操作マニュアル]を選ぶ

Windows XP

[スタート]-[操作マニュアル]を選ぶ

はじめて操作マニュアルを起動したときは、Acrobat® Readerの「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示される場合があります。内容を確認の上、[同意する]を選んでください。

3 もくじの項目にカーソルを移動し、カーソルが 👆 に変わったらクリックする

該当ページが表示されます。

お知らせ

- 表示サイズによっては、イラストが見えにくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
- Acrobat® Readerの下部がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。
- プリンターに接続している場合は、印刷しておくことをおすすめします。ただし、プリンターによっては、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。
- Acrobat® Readerの新しいバージョンをインストールした場合などには、上記の操作で操作マニュアルが表示できないことがあります。その場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選び、「c¥util¥manual¥manualj.pdf」と入力して[OK]を選んでください。
- Acrobat® Readerを最小化（タスクバーに格納）した状態でスタンバイまたは休止状態に入ると、リジュームしたとき、Acrobat® Readerを表示できない場合があります。コンピューターを再起動してください。

Windows XP

- ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、PDFファイルが正しく印刷されない場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

保管・持ち運び・お手入れ

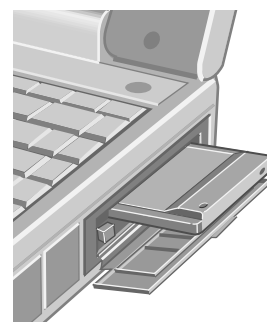
使用・保管

● **適した場所**

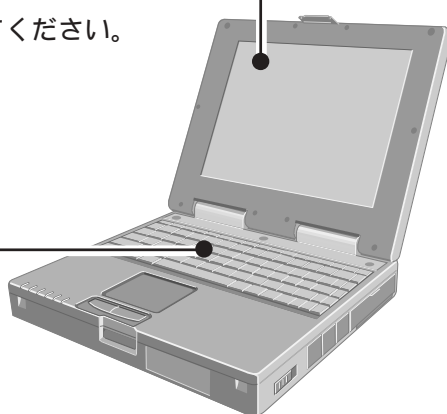
- 平らで落下のおそれがない場所
  コンピューターを縦に置いたりしないでください。
- 使用時の温度：5 °C 〜 35 °C
  湿度：30 %RH 〜 80 %RH
  （結露なきこと）
  保管時の温度：-20 °C 〜 60 °C
  湿度：30 %RH 〜 90 %RH
  （結露なきこと）

● **磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）の近くには置かないでください。**

持ち運ぶとき

- 落としたり、机の角など硬い物にぶつけないよう注意してください。
- 電源を切ってから持ち運んでください。
- 外部装置やケーブル、本体から突き出たPCカード（右図）をすべて取り外してください。
- 予備のバッテリーパック（別売り）を用意しておくことをおすすめします。
- ディスプレイを開けたまま持ち運んだり、ディスプレイを持って持ち運ばないでください。
- 航空機で持ち運ぶときは、破損等を避けるためコンピューターやディスクなどは、手荷物としてお持ちください。また航空機内の使用は、航空会社の指示に従ってください。
- データのバックアップをとり、バックアップしたデータも必要に応じて一緒に持ち運ぶことをおすすめします。

お手入れ

ディスプレイ：
付属の布で軽くふいてください。

ディスプレイ以外の部分：
水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸したやわらかい布をかたくしぼってやさしく汚れをふき取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

お願い

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

エラーコードが表示されたら

ここでは、ハードウェアの不良が発生した場合など、起動時に表示されるエラーコードとその原因・対処について説明します。

エラーコード・メッセージ	原 因・対 処
0211 キーボードエラーです。	外部キーボードが動作していません。外部キーボードを取り外してください。
0251 システムCMOSのチェックサムが正しくありません。−デフォルト値が設定されました。	CMOSデータがアプリケーションソフトによって壊されたか、変更されました。 ● セットアップユーティリティでいったんデフォルト設定にした後、再度、適切な値に設定し直してください。 ● それでもエラーになる場合は、CMOSバックアップバッテリーが消耗している可能性がありますので、ご相談窓口にご相談ください。
0271 Check date and time settings	システムの日付と時刻が正しくありません。セットアップユーティリティで日付と時刻を正しく設定してください。
0280 起動を3回失敗しました。−デフォルト値を使用して起動します。	電源を入れてからＯＳが起動するまでに、3回連続してシステムがシャットダウンされました。セットアップユーティリティでデフォルト設定にし、日付・時刻を合わせてください。正しくOSを起動すれば表示されることはありません。

下記のエラーコードが表示された場合は、そのメッセージを記録してご相談窓口にご相談ください。

エラーコード・メッセージ	原 因
0200 ハードディスクエラーです。	ハードディスクドライブまたはシステムボードの故障です。
0212 キーボードコントローラエラーです。	システムボードの故障です。
0230 システムRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0231 シャドウRAMエラー。オフセットアドレス：nnnn 0232 拡張RAMエラー。オフセットアドレス：nnnn	メモリーの故障です。
0250 システムのバッテリがありません。−バッテリを交換して、コンピュータを再起動して下さい。	CMOSバックアップバッテリーが消耗しています。 バッテリーの交換が必要です。ご相談窓口にご相談ください。
0260 システムタイマーエラーです。	システムボードの故障です。
0270 リアルタイムクロックエラーです。	システムボードの故障です。
02D0 システムキャッシュエラーです。−キャッシュは使用できません。	CPUの故障です。
02F5 DMAのテストが異常終了しました。	システムボードの故障です。

困ったときのQ&A

本機がうまく動かない場合にお読みください。『操作マニュアル』でも、さらに詳しい内容を紹介しています。また、アプリケーションソフトによる原因も考えられますので、各ソフトウェアのマニュアルも参照してください。
どうしても原因がわからない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

●電源を入れたとき

電源表示ランプまたはバッテリー状態表示ランプが点灯しない	● ACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが、正しく取り付けられていますか？ ● ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。
USB機器を接続していると、本機が起動しない	一部のUSB機器を接続していると本機が起動しない場合があります。USB機器を外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで「レガシーUSB」を「無効」に設定してください。
「パスワードを入力してください」が表示された	パスワードを入力してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。
システム起動エラーが表示された	☞ 21ページ
Windows の起動および動作が極端に遅い	セットアップユーティリティを起動してください。 (☞『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」) F9 を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻したあと、再度各種設定をしてください。 （動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。）
日付と時刻が正しく表示されない	● 次の項目を使って訂正してください。 Windows 2000 [コントロールパネル]-[日付と時刻] Windows XP [コントロールパネル]-[日付、時刻、地域と言語のオプション]-[日付と時刻] ● 正しく設定してもすぐに表示が違ってくる場合、日付と時刻の情報を保持しているクロックバッテリー（リチウム電池）の残量がない可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。 ● LAN（ネットワーク）に接続している場合は、サーバーの日付／時刻を確認してください。 ● 西暦2100年以降は、日付と時刻が正しく認識されません。
スタンバイ・休止状態からリジュームしたとき、「パスワードを入力してください」が表示されない	セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューでパスワードを設定し、「起動時のパスワード」を「有効」に設定していても、スタンバイ・休止状態からリジュームしたときはセットアップユーティリティで設定したパスワード入力は要求されません。代わりに、Windowsのパスワード入力が必要となるように設定することができます。 Windows 2000 [コントロールパネル]-[ユーザーとパスワード]でユーザーのパスワードを設定し、[コントロールパネル]-[電源オプション]-[詳細]の「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。 Windows XP [コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]で変更するアカウントを選び、パスワードを設定し、[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[電源オプション]-[詳細設定]の「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」にチェックマークを付けてください。

● 電源を入れたとき（つづき）

Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key. **と表示される**	● **システムを起動できないフロッピーディスクがドライブにセットされたままになっていることを意味します。この場合、フロッピーディスクドライブからディスクを抜いて、何かキーを押してください。** ● **一部の**USB**機器を接続していると、このメッセージが表示されることがあります。**USB**機器を取り外すかセットアップユーティリティの「詳細」メニューで「レガシー**USB**」を「無効」に設定してください。** ● **それでも左記メッセージが表示される場合、ハードディスクに何らかの問題が発生していることが考えられます。ご相談窓口にご相談ください。**
Administrator **またはコンピューターの管理者のパスワードを忘れた**	Windows 2000 **再インストールした後、**Windows**をセットアップしてパスワードを設定し直してください。** Windows XP **パスワードリセットディスク（**☞ 13**ページ）を作成していた場合は、パスワードの入力に失敗すると、メッセージが表示されます。メッセージに従って、パスワードを再設定してください。** **パスワードリセットディスクを作成していなかった場合は、再インストールした後、**Windows**をセットアップしてパスワードを設定し直してください。**
Windows 2000 **スタートメニューの一部しか表示されない**	● **簡易メニュー表示機能（よく使用するメニューを優先的に表示し、その他のメニューを隠す機能）が働いています。** **をクリックすると、その下にあるメニューが表示されます。** ● **常にすべてのメニューが表示されるようにするには、[スタート]-[設定]-[タスクバーとスタートメニュー]をクリックし、「頻繁に利用するメニューを優先的に表示」のチェックマークを外してください。**
その他の問題が起こる	● **セットアップユーティリティを起動し、**F9**を押して、いったん工場出荷時の設定(パスワード設定を除く)に戻してください。** ● **周辺機器を取り外してみてください。** ● **次の手順でディスクのエラーチェックを行ってください。** Windows 2000 *1* **[マイコンピュータ]の[ローカルディスク（**C:**）]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選ぶ。** *2* **[ツール]から[チェックする]を選ぶ。** *3* **[チェックディスクのオプション]で必要に応じた項目を選び、[開始]を選ぶ。** Windows XP *1* **[スタート]-[マイコンピュータ]の[ローカルディスク（**C:**）]を右ボタンで選び、[プロパティ]を選ぶ。** *2* **[ツール]から[チェックする]を選ぶ。** *3* **[チェックディスクのオプション]で必要に応じた項目を選び、[開始]を選ぶ。** ● **起動時、「**Panasonic**」画面が消えたときに**F8**を押し続け、「**Windows**拡張オプションメニュー」が表示されたら指を離し、セーフモードで起動してエラーの内容を確認してください。**

● 画面表示

電源を入れたあと、画面に何も表示されない	● 外部ディスプレイの画面に表示されない場合： ・外部ディスプレイのケーブル類は正しく接続されていますか？ ・外部ディスプレイの電源は入っていますか？ ・外部ディスプレイの設定は正しいですか？ ● Fn ＋ F3 で表示先を切り替えてください。 ● 外部ディスプレイだけに表示してスタンバイまたは休止状態機能を使って操作を終わった場合、リジュームしたときに外部ディスプレイが接続されていないと、内部LCDには表示されないことがあります。その場合は、外部ディスプレイを接続するか、Fn + F3 を押してください。
画面が消えた、または画面に何も表示されない	● 省電力機能によって､ディスプレイの表示が消えることがあります。いずれかのキーを押すと元に戻ります。その際、選択に使うキー（Enter、Space、Esc、Y、N や数字キーなど）は使わず、動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。 ● 省電力機能によって、スタンバイ（電源表示ランプが緑色点滅する）・休止状態（電源表示ランプ消灯）に入ることがあります。 その場合、電源スイッチをスライドすると元に戻ります。 ● 表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。 Fn + F3 を押してディスプレイの表示先を切り替えてください。 ● Fn + F3 を続けて押す場合は、画面の表示先が完全に切り替わったことを確認してから押してください。
残像が現れる	イメージが画面に焼き付き、残像となることがあります。別の画面が表示されると残像は消えます。
カーソルが正しく動かない	● 外部マウスを使用している場合は、外部マウスを正しく接続し直してください。 ● キーボードで操作してコンピューターを再起動してください。 （Windowsキー）、U の順に押し、→←↑↓で[再起動]を選んで Enter を押してください。 ● キーボードで操作できない場合は、「ハングアップした」（☞ 26ページ）をご覧ください。 ● 画面回転ツール使用時、動作しているアプリケーションによっては、画面が回転せず、画面とフラットパッドやタッチパネルの動作が一致しない場合があります。その場合は、再度 Ctrl + Alt + R を押して回転させるか、キーボードで操作してコンピューターを再起動してください。 Windows XP ユーザーの選択画面が回転している状態でWindowsを終了すると、次に起動したときに画面の角度とフラットパッドやタッチパネルの動作が一致しなくなります。この場合、キーボードを使ってWindowsにログオンし、90度回転させてから、使用したい角度を選んでください。
フラットパッドのスクロール領域でカーソルが動かない	Microsoft®インテリマウス™ホイール互換モードまたは基本モードでは、フラットパッドの右側や下側でスクロール操作を行います。この場合、カーソル操作は操作面の右側と下側以外の領域でのみ可能です。全くモードが設定されていない場合は、タッチパッドの全面がカーソル操作に使用できます。
画面に緑、赤、青のドットが残るまたは正しい色が表示されないドットがある	カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤・青・緑色）するものがあります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。（有効画素：99.998 %以上、画素欠け等：0.002 %以下）
外部ディスプレイに正しく表示されない	外部ディスプレイが省電力モードに対応していない場合、省電力のためにディスプレイの電源を切る状態に入ると、外部ディスプレイが正しく表示されなくなります。この場合は、外部ディスプレイの電源を切ってください。
画面が乱れる	解像度を変更すると画面が乱れることがあります。コンピューターを再起動してください。

● 画面表示（つづき）

外部ディスプレイと内部LCDの両方に表示しているとき、外部ディスプレイ側に正しく表示されない	● Fn ＋ F3 で表示先を切り替えてみてください。 ● Fn ＋ F3 で表示先を切り替えても表示されない場合は、以下の項目で表示先を変更して試してください。 Windows 2000 ：[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[Intel(R) Graphics Technology] Windows XP ：[スタート]-[コントロールパネル]-[コントロールパネルのその他のオプション]-[Intel(R) Graphics Technology]
ディスプレイいっぱいに画面が表示されない（ディスプレイ中央に表示される）	解像度を800 × 600以下に設定し、同時表示にした場合、画面はディスプレイいっぱいに表示されません。また、拡張デスクトップモードに設定した場合も、ディスプレイいっぱいに表示されない場合があります。
Windows XP タスクトレイのアイコンが隠れて見えない	タスクバーを右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選んで、[タスクバー]の[アクティブでないインジケータを隠す]のチェックマークを外してください。

● 終了時

Windowsが終了できない	● USB 機器を接続している場合は、一度取り外してから試してください。 ● プロバイダーへの通信は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 ● プロバイダーについては、プロバイダーから提供される説明書を参照してください。 ● LAN（☞『操作マニュアル』「LAN機能」）は正しく設定されていますか？設定が正しくない場合、Windowsが終了しなかったり、再起動できなかったりします。 LANの設定については､接続サービス会社(プロバイダー)や会社などでのネットワーク担当のシステム管理者におたずねください。

● バッテリー状態表示ランプ

赤色に点灯している	バッテリーの残量が少なくなっています。すぐにデータを保存し、終了してください。ACアダプターを接続するか、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。
赤色に点滅している	すぐにデータを保存し終了した後、ACアダプターとバッテリーパックを本体から取り外し、取り付け直してください。 それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。
緑色に点滅している	セットアップユーティリティで[環境]が[高温]に設定されている状態で、バッテリー残量が約65%（高温モードでの満充電状態）になるまで放電中であることを表します。コンピューターの電源を入れ、常温環境に置くようにしてください。
オレンジ色に点滅している	温度が充電可能な温度（5℃～35℃）の範囲外のため、充電できません。温度が範囲内になると、自動的に充電が始まります。
緑色とオレンジ色で交互に点滅している	低温による誤動作を防ぐために、ハードディスクを温めています。

困ったときのQ&A

● 操作マニュアル

操作マニュアルを表示できない	Acrobat® Readerをアンインストールしませんでしたか？ アンインストールした場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で、「c:\util\reader\ar505jpn.exe」を起動し、画面に従ってインストールしてください。その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、スタートメニューから操作マニュアルを起動できません。

● ユーザーの簡易切り替え機能 Windows XP

アプリケーションソフトなどが正しく動作しない	ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、以下のような問題が起きる場合があります。 ・アプリケーションソフトが正しく動作しない（PDFファイルが正しく印刷されないなど） ・画面の設定ができない ・シリアルマウスが動作しない このような場合は、簡易切り替え機能を使わずに、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

● その他

ハングアップした	● 入力待ち画面などが別のウィンドウで隠れていませんか？ Alt + Tab で表示されている画面を確認してください。 ● Ctrl + Shift + Esc を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ● 電源スイッチを4秒以上スライドして電源を切った後、再度電源を入れ、アプリケーションソフトを起動してください。それでも正常に動作しない場合は、以下の項目でそのアプリケーションソフトを削除してから、アプリケーションソフトを再度インストールしてください。 Windows 2000 ：[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除] Windows XP ：[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]

再インストールのしかた

再インストールの前に

●準備する

- プロダクトリカバリーCD-ROM
- [バックアップディスク作成]で作成したファーストエイドFD、アップデートFD*
  (☞ 12ページ、手順8)　　* アップデートFDを作成した場合。
- PC カード接続 CD ドライブ *1（市販）または USB 接続 CD ドライブ *2（市販）
  *1 PCカード接続CDドライブ（推奨）：パナソニック製KXL-830AN、KXL-820AN、KXL-810AN、KXL-RW30AN、KXL-RW10AN、KXL-CB10AN、LK-RV624DZ
  *2 USB接続CDドライブ（推奨）：パナソニック製KXL-840AN、KXL-RW20AN、KXL-RW21AN、KXL-RW31AN、KXL-RW32AN、KXL-RW40AN、KXL-CB20AN
- フロッピーディスクドライブ
  USBコネクターにフロッピーディスクドライブ（品番：CF-VFDU03）を接続してください。

●以下の点を確認する

- 必要なデータはバックアップをとっておいてください。
- 不要な周辺機器は、すべて取り外してください。
- 必ず、ACアダプターを装着してください。
- PCカード接続CDドライブの場合、CDドライブに付属のPCカードを使用してください。
  （PCカードにCardBus / 16bitの切り替えスイッチがあるものは16bit側で再インストールしてください。）

再インストールする

お客様が作成したデータは、必ずバックアップをとっておいてください。
再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
（データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作・誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。）

お願い

- 再インストール中に「CDR101:Not ready 読み取りドライブ L:」と表示された場合は、(R) を押して続行してください。
- ハードディスクのパーティション（区画）を変更されるお客様へ
  - 最初のパーティションにWindowsを再インストールするときは、あらかじめ複数のパーティションを作成しておいてください。
    複数のパーティションが作成されていない場合は、パーティションが作成されていない領域を含むすべての領域がCドライブとなります（お買い上げ時と同じ状態になります）。
  - Windows 95、Windows 98、Windows 98 Second Editionに標準添付されているFDISKは使用しないでください。パーティションが正しく設定されない場合があります。
    正しく設定できるFDISKは、以下のとおりです。
    - Windows Me標準添付のFDISK
    - Windows 98/Windows 98 Second Edition用 64 Gバイト ハードディスク対応のFDISK*

    *標準添付のFDISKに対する修正プログラムとして提供されています。詳しくはMicrosoft社のホームページを参照してください。

困った時は

再インストールのしかた

1 ＜USB接続CDドライブの場合＞
CDドライブを接続して「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をセットする。
＜PCカード接続CDドライブの場合＞
CDドライブとフロッピーディスクドライブを接続して、「プロダクトリカバリーCD-ROM1」と「ファーストエイドFD」をセットする。

2 コンピューターの電源を入れ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに、F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

お知らせ

CDドライブによっては、コンピューターの電源を入れる前にCDドライブの電源を入れると、CDドライブが認識されないことがあります。この場合、コンピューターの電源をいったん切って入れ直してください。

3 セットアップユーティリティの現在の設定内容を紙などにメモしておいてから、F9 を押す。
確認のメッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

4 ＜USB接続CDドライブの場合のみ＞
「起動」メニューで「CDドライブ」を選び、F6 を押して「CDドライブ」が1番目になるように設定する。

5 F10 を押す。
確認のメッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。
コンピュータが再起動します。

6 ＜PCカード接続のCDドライブを使用していて、初めて再インストールする場合のみ＞
数字キーを押して使用するCDドライブを選ぶ。
「A:\>」と表示されたら Alt + Ctrl + Del を押して再起動する。

7 [1.Windowsを再インストールする。]を選ぶ。

8 再インストールを実行するための条件が表示されたら、 同意する場合は 1 を押し、同意しない場合は 2 を押す。
1 を押すとメニューが表示されます。
2 を押すと再インストールが終了します。

9 メニューから、どの操作を実行するかを選ぶ。
・[2]を選んだ場合は、オペレーティングシステムのインストールに使用する基本パーティションのサイズを入力し、Enter を押してください。
・[3]を選ぶには、最初のパーティションのサイズは6 Gバイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

10 確認のメッセージが表示されたら Y を押す。
再インストールが始まります。

お願い

- 再インストールを途中で中止しないでください。
- 途中で次のCDに入れ替える指示が表示されたら、画面に従ってプロダクトリカバリーCD-ROMを順にCDドライブにセットし、[OK]を選んでください。

11 「再インストールを終了します。」というメッセージが表示されたら、Enter を押す。
コンピューターの電源が切れます。

12 CDドライブとフロッピーディスクドライブを取り外し、電源を入れ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに、F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

13 F9 を押す。
確認メッセージが表示されたら、再度 Enter を押す。

14 F10 を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

15 Windowsのセットアップを行う。(☞10,11ページ)
＜「アップデートFD」がある場合＞
アップデートFD内のREADME.TXTを参照して操作してください。

お知らせ

使用するCDドライブを変更する場合などには、下記に従って操作してください。

1. 「ファーストエイドFD」をセットして、コンピューターの電源を入れる。
（CDドライブは取り外しておいてください。）
2. 「CD-ROMドライブが見つかりません。」と表示されたら「A:\>」プロンプトに続けて「\tools\seldrv」と入力して Enter を押す。
3. 画面の指示に従って、使用するCDドライブを選ぶ。
4. [A:\>]が表示されたら、[\tools\shutdown]と入力して、Enter を押し Y を押す。コンピューターの電源が切れます。
5. CDドライブを接続し、「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をセットする。
6. コンピューターの電源を入れ、メニュー画面が表示されることを確認する。
7. 3 を押す。
8. どれかキーを押す。コンピューターの電源が切れます。

ソフトウェア使用許諾書

第１条　権利
お客様は、本ソフトウェア（コンピューター本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルやCD-ROMなどに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第２条　第三者の使用
お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用コンピューター
本ソフトウェアは、本コンピューター１台での使用とし、他のコンピューターで使用することはできません。

第５条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客様に対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第６条　アフターサービス
お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第７条　免責
本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第６条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。また製品に付属されている「保証書」はコンピューター本体（ハードウェア）の保証に限定したものです。

第８条　輸出管理
お客様が、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、日本国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

ハードディスクの内容をすべて消去する

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、内蔵ハードディスクに保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去します。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客様の損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

●準備する

- プロダクトリカバリーCD-ROM
- PCカード接続CDドライブ(市販)*またはUSB接続ドライブ(市販)*

＜PCカード接続CDドライブをお使いの場合＞

- [バックアップディスク作成]で作成したファーストエイドFD
- フロッピーディスクドライブ*

*推奨品（☞ 27ページ）

●以下の点を確認する

- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行すると、ハードディスクからは起動しなくなります。
- すでに損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。

データをすべて消去する

1 ＜USB接続CDドライブの場合＞
CDドライブを接続して「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をセットする。
＜PCカード接続CDドライブの場合＞
CDドライブとフロッピーディスクドライブを接続して、「プロダクトリカバリーCD-ROM1」と「ファーストエイドFD」をセットする。

2 コンピューターの電源を入れ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに、F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。
F9 を押し、確認のメッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

お知らせ

CDドライブによっては、コンピューターの電源を入れる前にCDドライブの電源を入れると、CDドライブが認識されないことがあります。この場合、コンピューターの電源をいったん切って入れ直してください。

3 ＜USB接続CDドライブの場合のみ＞
「起動」メニューで「CDドライブ」を選び、F6 を押して「CDドライブ」が1番目になるように設定する。

4 F10 を押す。
確認のメッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。
コンピュータが再起動します。

5 ＜PCカード接続のCDドライブを使用していて、初めてハードディスクのデータを消去する場合のみ＞
数字キーを押して使用するCDドライブを選ぶ。
「A:\>」と表示されたら Alt + Ctrl + Del を押して再起動する。

6 2 を押して「2.セキュリティのためハードディスクのデータを消去する」を実行する。
確認のメッセージが表示されます。

7 Y を押す。
ハードディスクデータ消去ユーティリティが起動します。

8 「<<<スタートメニュー>>>」で Enter を押す。
消去にかかるおおよその時間が表示されます。

9 Space を押す。
確認のメッセージが表示されます。

10 Enter を押す。
ハードディスクのデータ消去が開始されます。
（万一、途中でデータ消去を中断する場合は、Ctrl + C を押して中断することができますが、すでに消去されたデータは復元されません。）
完了のメッセージが表示されたら、Enter を押して本機の電源を切ってください。
何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

各部の名称と働き

ラッチ
ディスプレイ
キーボード
『操作マニュアル』「キーの組み合わせによる操作」
フラットパッド
18ページ
クリックボタン
状態表示ランプ
Caps Lk A・NumLk 1・ScrLk
機能時：緑色
HDD アクセスランプ
HDD 動作中：緑色
バッテリー状態表示ランプ
電源表示ランプ
電源オン時：緑色
スタンバイ時：緑色点滅
電源オフ時と休止状態時：消灯
USB コネクター
別売りのフロッピーディスクドライブ等のUSB機器が使用できます。
LAN コネクター
『操作マニュアル』「LAN機能」
モデムコネクター
『操作マニュアル』「モデム」
PC カードスロット
『操作マニュアル』「PCカード」
電源スイッチ
POWER
ハンドストラップ
オーディオ出力端子
市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。ヘッドホンまたはスピーカーを接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。
マイク入力端子
コンデンサー型モノラルマイクロホンの2極プラグタイプと3極プラグタイプを使用できます。それ以外を使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。
電源端子
DC IN 15.1V-16.0V
シリアルコネクター
シリアルマウスやモデムなどの通信機器を接続します。
セキュリティロック
LOCK
市販の盗難防止用のケーブルを使用し、机などにつなぎます。接続のしかたはケーブルに付属の取扱説明書をご覧ください。
モデム／LAN カード
17ページ
RAMモジュールスロット
『操作マニュアル』「RAMモジュール」
拡張バスコネクター
ハードディスクドライブ
スピーカー
バッテリーパック
『操作マニュアル』「バッテリーパック」

仕様 日本国内専用

● 本体仕様

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

機種名			CF-M34JCA2S	CF-M34JCAXS
CPU			Intel® SpeedStep™ テクノロジ対応 モバイル Pentium® IIIプロセッサ-M 933 MHz ULV	
メモリー	キャッシュ	L1	32 Kバイト	
		L2	512 Kバイト	
搭載メモリー（拡張可能メモリー）			256 Mバイト（最大512 Mバイト）	
ビデオメモリー			最大48 Mバイト（メインメモリーと共有）*1	
LCD	タイプ		8.4型	
	解像度（表示色数）		640 × 480 ドット/800 × 600 ドット（約1600万色*2）	
外部ディスプレイ			1280×1024/1024×768/800×600/640×480ドット （3種のうちいずれの解像度でも256色/65536色/1600万色）*3	
ハードディスク			約30 G*4バイト	
キーボード			OADG準拠、Windowsキーボード（86キー）	
スロット	PCカードスロット		Type I（Type II）×1スロット内蔵	
			許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA	
	増設RAMスロット*5		1スロット（144ピン、3.3 V対応、SDRAM）133 MHz*5	
インターフェース	シリアルコネクター		RS-232C Dsub 9ピン	
	マイク入力端子		モノラルミニジャック（コンデンサーマイクを使用のこと）	
	オーディオ出力端子		ステレオミニジャック	
	USBコネクター		4ピン、USB 1.1	
	モデム端子		RJ-11 DATA：56 kbps（V.90 & K56flex）FAX：14.4 kbps	
	LAN端子		RJ-45 100BASE-TX/10BASE-T	
	拡張コネクター		100ピン（ポートリプリケーター接続用）	
ポインティングデバイス			フラットパッド、タッチパネル[AR（Anti - Reflection）処理]	
スピーカー			モノラルスピーカー	
サウンド機能			PCM音源（16ビットステレオ）	
消費電力*6			最大 40 W、（社）電子情報技術産業協会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値：24 W	
OS			Microsoft® Windows® 2000 Professional with Service Pack3（NTFSファイルシステム）、MediaPlayer 7.0、Microsoft® Internet Explorer 6.0	Microsoft® Windows® XP Professional with Service Pack1（NTFSファイルシステム）
ユーティリティプログラム			DMIビューアー、Intel SpeedStep technology、Panasonic 手書き、画面回転ツール、Adobe® Acrobat® Reader、ハードディスク消去ユーティリティ*7	DMIビューアー、Panasonic 手書き、画面回転ツール、Adobe® Acrobat® Reader、ハードディスク消去ユーティリティ*7
外形寸法（幅×高さ×奥行き）			229 mm×188 mm×43 mm	
質量			約1.8 kg	
使用環境条件			温度：5 ℃～35 ℃ 湿度：30 %RH～80 %RH（結露なきこと）	

*1 コンピューターの動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。
*2 ディザリング機能を使用して約1600万色表示を実現しています。
*3 Windows XP ：640×480ドット、256色には対応していません。
*4 1 Gバイト=10^9 バイトで端数を省略しています。
*5 SO-DIMM、133 MHz対応であることをご確認ください。
*6 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約1.0 W。
*7 プロダクトリカバリーCD-ROMが必要です。

● 付属品仕様

機種名		CF-M34JCA2S/CF-M34JCAXS
AC アダプター	入力	AC 100 V ～ 240 V*1、50 Hz/60 Hz
	出力	DC 16 V、2.5 A
	電源コード	125 V 対応
バッテリーパック	仕様	11.1 V(Li-ion)、4.0 Ah
	駆動時間	約 5 時間*2

*1 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。(☞ 3ページ)
*2 JEITAバッテリー動作時間測定法（Ver.1.0）による駆動時間。バッテリー駆動時間は動作環境、システム設定により変動します。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。
転居や贈答品などでお困りの場合は…
・「パナソニックパソコン お客様ご相談センター」にご相談ください。

■保証書（別添付）
必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
[消耗品（バッテリーパック）を除く]

■補修用性能部品の保有期間
当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき
『困ったときのQ&A』にしたがってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
技術料は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料費です。
出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■海外での使用について
本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

ご相談窓口のご案内

パーソナルコンピューターのパナソニックブランド製品についての技術的なご質問・お取り扱い方法等ご不明な点がありましたら、品番をご確認のうえ、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理に関するご相談

サポートデスク

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-008756（パナコム）

受付時間　月〜金（祝祭日を除く）
9時〜17時30分

・お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電　話　フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック）

ＦＡＸ　(06)6905-5079

365日／受付9時〜20時

（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

・本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
・落丁、乱丁はお取り替えします。
・本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
・本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
・漏洩電流について、この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	品 番*	
	販売店名	☎(　　)　－	お近くの当社 ご相談センター ☎(　　)　－	

* 保証書に記載されている品番（例：CF-M34JCA2S）を記入してください。

松下電器産業株式会社 ITプロダクツ事業部

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

FJ0103-0
DFQM5517ZA